

瑞浪市地域防災計画
様 式 編

瑞浪市地域防災計画 様式編

様式 番号	様式名称	様式 番号	様式名称
1	防災待機出動報告書	49	炊き出し給与状況
2	労務者出役表	50	炊き出し協力者、奉仕者名簿
3	賃金台帳	51	水道断減水状況報告書
4	災害派遣要請依頼書	52	飲料水の供給簿
5	自衛隊の撤収要請依頼書	53	救助用物資割当台帳
6	災害救助法による従事命令書	54	世帯構成員別被害状況
7	災害救助法による従事命令書の取消令書	55	物資の給与状況
8	災害対策基本法による従事協力命令書	56	住宅総合災害対策報告書
9	災害対策基本法による従事協力命令の変更命令書	57	応急仮設住宅入居該当世帯調
10	災害対策基本法による従事協力命令の取消命令書	58	応急仮設住宅入居者台帳
11	従事者台帳	59	入居誓約書
12	実費弁償請求書	60	住宅応急修理該当世帯調
13	災害救助法による扶助金支給申請書	61	住宅応急修理記録簿
14	災害対策基本法による損害補償費支払請求書	62	障害物除去該当世帯調
15	緊急通行車両確認証明書及び標章	63	障害物除去記録簿
16	救助用物資引継書	64	医療券・調剤券
17	車両使用書	65	医薬品等調達要請書
18	輸送記録簿	66	医療班出動編成表
19	救助実施記録日計票	67	医療救護活動報告書
20	救助の種目別物資受払状況	68	医療班医薬品衛生材料使用記録
21	住家等一般被害状況等報告書	69	病院診療所医療実施状況
22	住家等一般被害調査表	70	助産台帳
23	社会福祉施設被害状況等報告書	71	被災者救出状況記録簿
24	社会福祉施設等被害調査表	72	被災児童生徒名簿
25	医療、衛生施設被害状況等報告書	73	被災教科書報告書
26	商工業関係被害状況等報告書	74	学用品の給与状況
27	観光施設被害状況等報告書	75	学用品引継書
28	土木施設被害状況報告書	76	死亡診断書(遺体検案書)
29	都市施設被害状況報告書	77	遺体搜索状況記録簿
30	教育関係被害状況等報告書	78	遺体搜索用機械器具修繕簿
31	市有財産被害状況報告書	79	遺体処理台帳
32	市有財産被害調査表	80	遺体及び所持金品引取書
33	消防職団員活動状況報告書	81	埋葬台帳
34	消防関係報告書(火災即報)	82	災害防疫経費所要額調
35	災害概況即報	83	災害防疫業務完了報告書
36	被害状況即報・中間調査報告・確定調査報告	84	防疫活動状況報告書
37	非常通信用紙	85	廃棄物処理施設等被害状況報告
38	水防実施状況報告書	86	災害廃棄物処理事業報告
39	使用資機材費内訳	87	義援金品受払簿
40	被災者台帳	88	義援金品拠出者名簿
41	罹災証明書(一般)	89	義援金品引継書
42	罹災証明書(商工業者)	90	義援金品受領書
43	仮罹災証明書	91	現金出納簿
44	り災者旅行証明書	92	学校別被害状況報告書
45	救助日報	93	学校給食用物資被害状況報告書
46	避難指示報告書	94	児童、生徒被災状況報告書
47	避難所設置及び収容状況	95	私立学校施設被害状況報告書
48	避難所収容者名簿	96	被災児童生徒及び教職員調

様式1号

課長	課長補佐	係長

報告書	所属		氏名	印

防災待機出動報告書

日時	年 月 日	気象又は 災害種別		
No.	氏 名	開始(登庁)時刻	終了時刻	備 考
1				
2				
3				
4				
5				
6				
7				
8				
9				
10				
11				
12				
13				
14				
15				
16				
17				
18				
19				
20				
21				
22				
23				
24				
25				

様式 3 号

賃 金 台 帳

(作業種別)		就労状況						瑞浪市			
住 所	氏 名	日額	月 分				基本賃金		割増賃金		給与額
			日	日	日	日	日数	金額	時間	金額	
計	名		名	名	名	名					

- (注) 1 本台帳は作業の種別によって口座を別にする事。
 2 各日別就労状況は、1日就労者は「 」と表示する。また5時間時間外に就労した者は「5」と表示すること。
 3 本様式の日別欄は適宜増加し、更に所得税等控除を要するときは、所要欄を適宜増加すること。

災害派遣要請依頼書

第 号
年 月 日

(岐阜県災害対策本部長名) 様

瑞浪市長 印

災害派遣要請依頼について

自衛隊法第83条第1項の規定により、次のとおり自衛隊の派遣を要請されたく依頼します。

記

- 1 災害の状況及び派遣を要請する事由
 - (1) 災害の状況
 - (2) 派遣を要請する事由
- 2 派遣を希望する期間
- 3 派遣を希望する区域及び活動内容
 - (1) 派遣区域
 - (2) 活動内容
- 4 その他参考となるべき事項

自衛隊の撤収要請依頼書

第 号
年 月 日

(岐阜県災害対策本部長名) 様

瑞浪市長 印

自衛隊の撤収要請依頼について

自衛隊の災害派遣を受けていましたが、(災害の復旧)もおおむね終了しましたので、下記のとおり撤収要請を依頼します。

記

- 1 撤収要請依頼日時
年 月 日 時 分
- 2 派遣要請依頼日時
年 月 日 時 分
- 3 撤収作業場所
- 4 撤収作業内容

様式 6 号

災害救助法による従事命令書（表面）

公 用 令 書

公用令書発行番号	第 号
----------	-----

住所
職業
氏名

年 月 日生

(法人その他の団体にあつてはその名称及び事業の種類)

災害救助法第24条の規定に基づき、次のとおり救助業務に従事することを命ずる。

従事すべき救助業務	
従事すべき場所	
従事すべき期間	年 月 日から 年 月 日まで 日間
出頭すべき日時場所	

(法人その他の団体にあつては従事すべき業務の計画その他必要と認める事項を記載すること。)

年 月 日

瑞浪市長 印

.....切.....取.....線.....

年 月 日 午 時 分
前
後

瑞浪市長 殿

住 所
氏 名 印

(法人その他の団体にあつてはその名称及び代表者の氏名)

受 領 書

公用令書（ 年 月 日付第 号）を受領しました。

災害救助法による従事命令書（裏面）

令書の交付を受けた者の心得

- 1 この令書の交付を受けた者は、この令書を携行して指定の日時及び場所に出頭すること。
- 2 この令書の交付を受けた者は、傷病、疾病等により指定の日時に出席し難い場合には医師の診断書（やむを得ない事情により医師の診断書を得られないときは、警察官の証明書）を添えて知事に遅滞なく届け出ること。
- 3 この令書の交付を受けた者は、天災その他避けることのできない事故により指定の日時及び場所に出頭できない場合は、市町村長、警察官その他適当な公務員の証明書を添えて知事に遅滞なく届け出ること。
- 4 この令書の交付を受けた者で旅費の前払を受けなければ出席することができない者は、居住地の市町村長にこの令書を掲示して立替払を請求することができる。
- 5 この令書の交付を受けた者が命令に従わないときは、災害救助法第45条の規定により6月以下の懲役又は50,000円以下の罰金に処せられる。

様式7号

災害救助法による従事命令書の取消令書

公用取消令書発行番号	第	号
公用令書発行番号	第	号
年 月 日	年 月 日	

公 用 取 消 令 書

住所

職業

氏名

(法人その他の団体にあつてはその名称及び事業の種類)

年 月 日付第 号の公用令書にかかる従事命令は、その必要がなくなったので
これを取り消す。

年 月 日

瑞浪市長 印

.....切.....取.....線.....

年 月 日 午 時 分
前 後

瑞浪市長 殿

住 所
氏 名 印

(法人その他の団体にあつてはその名称及び代表者の氏名)

受 領 書

公用取消令書 (年 月 日付第 号) を受領しました。

様式 8 号

災害対策基本法による従事協力命令書

従事 第 号 協力	公 用 令 書
	住 所 氏 名
	従事 災害対策基本法第71条の規定に基づき、次のとおり を命ずる。 協力
	年 月 日
	瑞浪市長 印
従事すべき業務	
従事すべき場所	
従事すべき期間	
出頭すべき日時	
出頭すべき場所	
備 考	

- (注) 1 用紙は、A4とする。
2 受領書は、別紙にて様式6号に準じて作成する。
3 令書の交付を受けた者の心得は、別紙にて様式6号に準じて作成し、令書とともに交付する。

様式 9 号

災害対策基本法による従事協力命令の変更命令書

変更第 号

公 用 変 更 令 書

住 所

氏 名

災害対策基本法第71条の規定に基づく公用令書（ 年 月 日付第 号）にかか
る処分を次のとおり変更したので、同法施行令第34条第1項の規定により、これを交付する。

年 月 日

瑞浪市長

印

変更した処分の内容

- (注) 1 用紙は、A4とする。
2 受領書は、別紙にて様式6号に準じて作成する

様式 10号

災害対策基本法による従事協力命令の取消命令書

取消第 号

公 用 取 消 令 書

住 所

氏 名

災害対策基本法第71条の規定に基づく公用令書（ 年 月 日付第 号）にか
かる処分を取り消したので、同法施行令第34条第1項の規定により、これを交付する。

年 月 日

瑞浪市長

印

- (注) 1 用紙は、A4とする。
2 受領書は、別紙にて様式6号に準じて作成する。

様式 11 号

従事者台帳

公用令書発行番号	第		号		
公用令書発行年月日	年	月	日		

救 助 従 事 者 台 帳

住 所
職 業
氏 名

年 月 日生

従事すべき救助業務					
従事すべき場所					
従事すべき期間					
出頭すべき日時					
出頭すべき場所					
公用令書取消理由					
負傷、疾病又は死亡の日時					
負傷、疾病又は死亡の原因					
傷病名、傷病の種類及び身体の状況					
備 考					
負傷、疾病又は死亡した者の主な親族	氏 名	本人との続柄	生年月日	職業	備考
扶 助 金 支 給 欄	扶助金の種類	金額	支給年月日	備考	

(注) 災害救助以外についても本様式に準じて作成する。

実 費 弁 償 請 求 書

年 月 日

岐阜県知事 殿

住 所

職 業

氏 名

印

(法人その他の団体にあつてはその名称及び代表者の氏名)

実 費 弁 償 請 求 書

1 請 求 額 円

ただし、 年 月 日付第 号の公用令書にかかるもの(明細書別紙のとおり)
上記金額を次の理由により請求します。

1 従事した業務

2 従事した期間

3 従事した場所

災害救助法による扶助金支給申請書

年 月 日					
岐阜県知事		殿			
住所					
氏名					
印					
災害救助法による 扶助金支給申請書					
災害救助法第29条の規定により扶助金を支給されたく別添書類を添えて申請します。					
負傷、疾病又は死亡した者の住所氏名					
負傷、疾病又は死亡の日時及び場所					
負傷、疾病又は死亡の原因					
傷病名、傷病の程度及び身体の状況					
公用令書の発付年月日及び番号					
負傷、疾病又は死亡した者の主な親族の状況	氏 名	本人との続柄	生年月日	職 業	備 考

- (注) 1 表題空白箇所には「療養、休業、障害、遺族、葬祭、打切」の該当事項を記載する。
 2 本申請書には、次の書類を添付するものとする。
- (1) 療養扶助金については、医師の診断書及び療養費に関する請求書又は領収書
 - (2) 障害扶助金については、身体障がい の程度及び療養開始以来の経過を詳記した医師の診断書
 - (3) 遺族扶助金又は葬祭扶助金については医師の死亡診断書及び死亡者との関係を証明する書類
 - (4) 休業扶助金については、負傷し、疾病にかかったため、従前の収入を得ることができず、かつ他に収入の見込みがない等給付を必要とする理由を詳細に記載した書類
 - (5) 打切扶助金については、療養の経過、病状全快までの見込期間等に関する医師の意見書

様式 14 号

災害対策基本法による損害補償費支払請求書

損害補償費支払請求書		請求第 回
災害に伴う応急措置の業務に従事した者に対する損害補償に関する条例第 2 条の規定による損害補償費を支給されたく別添書類を添えて請求します。		
		年 月 日
		住 所
		氏 名 印
岐阜県知事 様		
請求金額 円		
損害補償の種目	療養補償、休業補償、障害補償、遺族補償、葬祭補償、打切補償	
負傷、疾病又は死亡した者の住所氏名	住所	
	氏名	
負傷、疾病又は死亡の日時及び場所	日時	
	場所	
負傷、疾病又は死亡の原因		
傷病名、傷病の程度及び身体の状況		
公用令書の発付年月日及び番号		
(摘要)		

(注) 1 本申請書には、次の書類を添付するものとする。

- (1) 療養補償 医師の診断書及び療養に関する請求書又は領収書
- (2) 休業補償 負傷し、又は疾病にかかり、療養のため従前の業務に服することができず、かつ、従前の収入を得ることができない等補償を必要とする理由を詳細に記載した書類
- (3) 傷害補償 身体障がいの程度及び療養開始以来の経過を詳細に記載した医師の診断書
- (4) 遺族、葬祭補償 医師の診断書及び死亡者との関係を証明する書類
- (5) 打切補償 療養の経過、症状全快までの見込期間等に関する医師の意見書
- (6) 市町村長が従事命令を発したときは公用令書又は従事命令を発した旨の市町村長の証明書

2 損害補償の種目欄は、□で該当事項を囲むこと。

3 請求第 回の欄には損害補償の同一種目についての請求回数を記載すること。

4 用紙はA 4 とする。

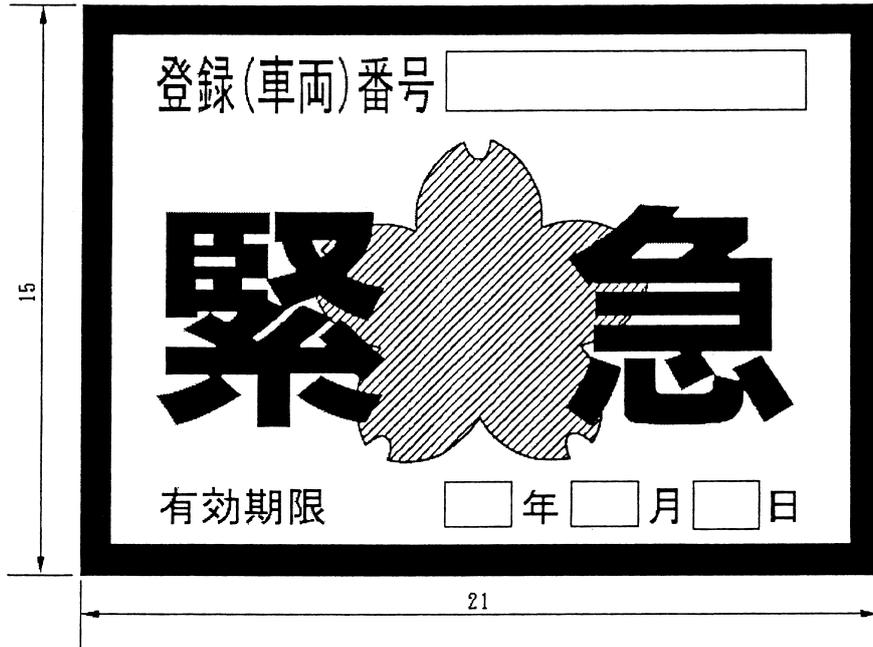
様式 15 号

第 号		年 月 日
緊急通行車両確認証明書		岐阜県 知事印
岐阜県知事 氏 名		
番号票に表示されている番号		
車両の用途(緊急輸送を行う車両にあつては、輸送人員又は品名)		
使用 者	住 所	() 局 番
	氏 名	
通 行 日 時		
通 行 経 路	出 発 地	目 的 地
備 考		

(注) 用紙は、日本工業規格 A5 とする。

第 号		年 月 日	
緊急通行車両確認証明書			
岐阜県公安委員会 ㊤			
番号票に表示されている番号			
車両の用途(緊急輸送を行う車両にあつては、輸送人員又は品名)			
使用者	住所	() 局 番	
	氏名		
通行日時			
通行経路	出発地	目的地	
備考			

標章



- (注) 1 色彩は、記号を黄色、線及び「緊急」の文字を赤色、「登録(車両)番号」、「有効期限」、「年」、「月」、「日」の文字を黒色、登録(車両)番号並びに年、月及び日を表示する部分を白色、地を銀色とする。
- 2 記号の部分に、表面の面積が光の反射角度に応じて変化する措置を施すものとする。
- 3 この標章は運転者の視野を妨げないようにして車両の前面の見やすい箇所に貼付する。

様式 16 号

救助用物資引継書

引継者機関名	職 氏 名	印												
引受者機関名	職 氏 名	印												
<p>救助用物資次のとおり引き継ぎました。</p> <p style="text-align: center;">記</p> <p>1 引継日時</p> <p>2 引継場所</p> <p>3 引継物資 次表のとおり (車両番号)</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; margin-top: 10px;"> <thead> <tr> <th style="width: 20%;">物資名</th> <th style="width: 10%;">単位</th> <th style="width: 15%;">輸送数量</th> <th style="width: 15%;">引継数量</th> <th style="width: 10%;">差引 過不足数</th> <th style="width: 30%;">過不足を生じた理由その他</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td style="height: 200px;"></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>			物資名	単位	輸送数量	引継数量	差引 過不足数	過不足を生じた理由その他						
物資名	単位	輸送数量	引継数量	差引 過不足数	過不足を生じた理由その他									

(注) 本書は、2部作成し、引継・引受両機関とも保管する。

様式 17号

車両使用書

輸 送 機 関		部 班	
使用責任者職氏名		印	
車 両	所 属		
	番 号	岐・岐阜	
使用の目的内容			
使用区間又は場所			
使 用 月 日		月 日 時 ~ 月 日 時	
備 考			

- (注) 1 用紙はA4とする。
 2 舟艇の場合は、本様式に準じて作成する。

様式 18 号

輸送記録簿

											瑞浪市		
輸送月日	目的	輸送区間 (距離)	借上等			修繕					燃料費	実支出額	備考
			使用車両等		金額 (円)	故障車両等		修繕月日	修繕費	故障の概要			
			種類	台数		名称番号	所有者氏名						
計													

- (注) 1 「目的」欄は、主たる目的（又は救助の種類名）を記入すること。
 2 都道府県又は市町村の車両等による場合は、「備考」欄に車両番号を記入すること。
 3 借上車両等による場合は、有償、無償を問わず記入すること。
 4 借上等の「金額」欄には、運送費又は車両等の借上費を記入すること。

様式 19号

救助実施記録日計票

救助実施記録票				
救助の種類	避	炊	水	救出
	修理	学	死捜	死処
	障			
				瑞浪市
				責任者 班 印
				地区責任者 印
No. _____ (月 日 時 分)				
員 数(世 帯)				
品 目(数量・金額)				
受 入 先				
払 出 先				
場 所				
方 法				
記 事				

- (注) 1 各救助の種類ごとに一葉作成する。
- 2 記録票欄外の「No.欄」には、記録票作成ごとに一連番号を付するものとし、前回分を訂正する必要が生じた場合、例えば、No.10の次にNo.5の分を訂正する場合には、No.11 (No.5訂正) と記載し、前回分No.5の記録票には朱で×印を付し、(No.11に訂正済) とし、棄却することなくそのままナンバー順に綴っておくこと。
 なお、救助の実施種類が多い場合には、救助の種類ごとに一連番号を付し、ナンバー順に綴ってよい。
- 3 記録票欄外の「救助の種類」欄の該当の救助名をでかこみ、欄内該当欄に必要最少限度の事項を記入すること。
- 4 機械器具等を無償で借上げた場合についても記録票を作成すること。
- 5 災害救助基金より放出した場合についても同様とすること。
- 6 被服寝具その他生活必需品の給与等で、県調達分と市町村調達分の双方があるときは、それぞれ別個に記録票を作成すること。

様式 20 号

救助の種目別物資受払状況

							瑞浪市	
救助の種目別	年月日	品名	単 位 呼 称	摘要	受	払	残	備 考
避難所用								
炊き出しその他による食品給与用								
給水用機械器具燃料 薬品資材								
被服・寝具等								
医薬品衛生材料								
被災者救出用機械 器具燃料								
燃料及び消耗品								

- (注) 1 「摘要」欄に購入又は受入先及び払出し先を記入すること。
 2 「摘要」欄に購入単価及び購入金額を記入すること。
 3 各救助の種目別最終行欄に、受払残の計及びそれぞれの金額を明らかにすること。
 なお、物品等において県からの受入分及び市町村調達分がある場合にはそれぞれの別に受、払、残の計及び金額を明らかにしておくこと。
 4 救護班による場合には救護班ごとに救護業務従事期間中における品目ごとの使用状況を記入すること。
 なお、「備考」欄に払高数量（使用数量）に対する金額を記入すること。

様式 21 号

住家等一般被害状況等報告書

住家等一般被害状況報告										(概況 中間 確定)		(瑞浪市計)		
災害の種別				災害発生日時		年 月 日 時								
災害発生場所														
報告の時限		月 日 時 現在		受信時刻		月 日 時 分								
発信者				受信者										
人的被害		死 者		ア		行方不明		イ		負 傷				
										重 傷		ウ 軽 傷 エ		
区 分		棟 数①		世帯数②		人 員③								
住家の被害	全壊(焼)	オ	()棟		世帯		人							
	流失	カ	()											
	半壊(焼)	キ	()											
	床上浸水	ク	()											
	床下浸水	ケ	()											
	小計	コ	()											
	一部破損	サ	()											
合計	シ	()												
の非住家被害	倉庫、土蔵 車庫、納屋等	ス												
	官公署庁舎 学校、病院等	セ												
避難の指示の情況														
		知事		市町村長		水防管理者		警察官		自衛官		計		摘要
		地区数	人員	地区数	人員	地区数	人員	地区数	人員	地区数	人員	地区数	人員	
月時	日分		人		人		人		人		人		人	
月時	日分													
月時	日分													
月時	日分													
月時	日分													
計														
主な被害地域 (市町村)	市町村名	全壊(焼)		流失		半壊(焼)		床上浸水		床下浸水		一部破損		非住家
	瑞浪市	棟		棟		棟		棟		棟		棟		棟
		世帯		世帯		世帯		世帯		世帯		世帯		
		棟		棟		棟		棟		棟		棟		棟
世帯		世帯		世帯		世帯		世帯		世帯				

公営住宅の被害棟数は、() 内書きする。

様式 22 号

住家等一般被害調査表

決定期災 区 分				り災台帳 番 号				自治会又は 地 区 名									
り災世帯		氏名				職業											
		住所															
災害種別				り災年月日				り災の場所									
り災の状況	人的被害		死者	人		行方不明	人		重傷	人		軽傷	人		計	人	
	区分		全焼	全壊	流失	半焼	半壊	床上浸水	床下浸水	一部破損	建物延面積	被害床延面積	被害割合	被害額			
	住家被害		棟	棟	棟	棟	棟	棟	棟	棟	m ²	m ²	%	円			
	倉庫、土蔵		棟	棟	棟	棟	棟	棟	棟	棟	m ²	m ²	%	円			
	その他の建物		納屋														
			工場														
			その他														
	家財		日用品	%		被服寝具	%		炊事用具	%		その他	%				
	その他																
住家の内容		種別	自家、借家、借間				戸数比率			／10 戸							
世帯構成	氏名		続柄	性別	年齢	職業	学校(学年)		備考	構成内訳							
			世帯主							大人	男						
										女							
										中学	男						
										女							
										小学	男						
										女							
										幼児	男						
									女								
									乳児								
									計								
備考	(在留者氏名住所等)																
調査月日			調査者氏名			調査補助者氏名											

様式 23 号

社会福祉施設被害状況等報告書

社会福祉施設等被害状況報告書 (概況 中間 確定) (施設、瑞浪市)												
災害の種別				災害発生日時				年 月 日 時				
災害発生場所												
報告の時限				発受信時刻				月 日 時 分				
発信機関				受信機関								
発信者				受信者								
区 分	記号	数単位	生保、高齢者、介護 保険、身障施設		女性、児童施設		国保施設		その他施設		計	
			①数	②被害額	③数	④被害額	⑤数	⑥被害額	⑦数	⑧被害額	⑨数	⑩被害額
建 物	全焼壊	ア	棟									
	流失	イ	棟									
	半焼壊	ウ	棟									
	浸水	床上	エ	棟								
		床下	オ	棟								
	一部破損	カ	棟									
小計	キ	棟										
敷地	ク	カ										
その他財産	ケ	件										
物品	コ	件										
計	サ	件										
施設数	シ	① (施設数)		② (施設数)		③ (施設数)		④ (施設数)		⑤ (施設数)		
主な被害地域 施設名 地区名	地区名		施設名		被害程度							

様式 24 号

社会福祉施設等被害調査表

施設名				被災地	
被害、施設、設備名		数量	単価	金額	概要
施設被害	(例) 第 1 入所棟	150m ²	円 40,000	円 2,000,000	全壊
設備被害	(例) 給食施設	1 式		50,000	くど、釜破損使用不能
部品被害	(例) 給食原材料	60kg	130	7,800	米 60kg 水入使用不能
その他	(例) 人的被害	3 名	-	-	死者 1 甲野太郎 (収容者) 重傷 1 乙山一郎 (収容者) 軽傷 1 丙川花子 (事務員)

様式 25 号

医療、衛生施設被害状況等報告書

医療、衛生施設被害報告書（概要・中間・確定）										瑞浪市
災害の種類					災害発生日時		年 月 日 時			
災害発生場所										
報告の时限		月 日 時 現在			発受信時刻		月 日 時 分			
発信期間					受信機関					
発信者					受信者					
区分		施設数	被害施設数	被害額(千円)	区分		施設数	被害施設数	被害額(千円)	
医療施設	病院				公衆衛生施設	斎場				
	診療所					保健センター				
	その他()					水道施設				
	計					その他()				
公衆衛生	クリーンセンター(塵芥処理施設)									
	浄化センター(下水処理場)				計					
合 計										
被害施設の状況										
区分	地区名	施設名	被害の程度	応急措置	応援の要否・その他					
医療施設										
公衆衛生施設										

水道施設	市町村名	瑞浪市							
	水道区域								
	水道名称								
	現在給水人口								
	水源別の施設能力								
	被害の状況								
	給水状況	給水対策							
		給水状況と給水量							
		実施月日							
		応急措置							
	今後の見通しと対策								
防 疫									
措置	1. 伝染病予防委員の措置		要・否		4. 家用水供給の指示		要・否		
	2. 消毒方法・清潔方法の指示		要・否		5. 代執行の必要性		要・否		
	3. 鼠族昆虫駆除地域指定		要・否		6. 応援の必要性				
防疫活動	(要の場合市町村名及び地区名)								
	1. 伝染病発生市町村名		病名		患者数(真性名, 疑似名, 保菌者名)				
	2. 実施概要								
	市町村	防疫活動		消毒実施(戸)	清潔実施(戸)	鼠族昆虫駆除(戸)	家用水供給(戸)	検病調査(戸)	必要経費概算 千円
	瑞浪市	市町村(人)	保健所(人)						
清 掃									
市 町 村 名	し尿収集関係			ごみ収集関係			備 考		
	汲取対象戸数	汲取完了戸数	完了予定日	収集対象戸数	収集完了戸数	完了予定月日			
瑞浪市									

様式 26 号

商工業関係被害状況等報告書

商工業関係被害状況等報告書												概況 中間 確定		(瑞浪市)	
災害の種別			災害の発生日			年 月 日 時									
災害の発生場			報告の時限			月 日 時現在			発受信時刻			月 日 時 分			
発信機関			受信機関												
発信者			受信者												
区 分 号	記 号	一 般 被 害						共同施設被害		被害計		うち建物被害			
		建物、施設				製品、商品、仕掛品		件数 ⑦	被害額 ⑧	件数 ⑨	被害額 ⑩	被害棟数 ⑪	浸水建物		
		全失		その他		件数 ⑤	被害額 ⑥						床上⑫	床下⑬	
		件数 ①	被害額 ②	件数 ③	被害額 ④										
中小企業者	工 業	繊維	ア		千円		千円		千円		千円		棟	棟	棟
		機械金属	イ												
		木工	ウ												
		紙	エ												
		陶磁器	オ												
	その他	カ													
	業 者	商 業	キ												
		鉱 業	ク												
		サービス業	ケ												
		そ の 他	コ												
計		サ													
その他の事業者	工 業	繊維	シ												
		機械金属	ス												
		木工	セ												
		紙	ソ												
		陶磁器	タ												
	その他	チ													
	事 業 者	商 業	ツ												
		鉱 業	テ												
		サービス業	ト												
		そ の 他	ナ												
計		ニ													
合 計		ヌ													
間 接 損 害 額	区 分		記 号	損害額		主 な 被 害 地 域	瑞浪市 (地区名)	施設名 (種別)	被害程度						
	除雪、排水等の 災害対策に要 した経費	中小企業者	ネ												
		その他事業	ノ												
		計	ハ												
	その他災害の 発生により生 じた損害額	中小企業者	ヒ												
その他事業		フ													
		計	ヘ												

様式 27号

観光施設被害状況等報告書

観光施設被害状況等報告書												(概況 中間 確定)		(瑞浪市)			
災害の種別			災害発生年月日			年 月 日 時											
災害の発生場所																	
報告の時限			月 日 時現在			発受信時刻			月 日 時 分								
発信機関			瑞浪市			受信機関											
発信者						受信者											
区 分 記号	一般被害						公共被害						被害計		うち建物被害		
	建物、施設						建物、施設								浸水建物		
	全失		その他		計		全失		その他		計		件数 ⑬	被害額 ⑭	被害棟数 ⑮	床上 ⑯	床下 ⑰
	件数 ①	被害額 ②	件数 ③	被害額 ④	件数 ⑤	被害額 ⑥	件数 ⑦	被害額 ⑧	件数 ⑨	被害額 ⑩	件数 ⑪	被害額 ⑫					
公営宿泊施設	ア		千円		千円		千円		千円		千円		千円		棟	棟	棟
キャンプ場、バンガロー村	イ																
その他観光施設	ウ																
計	エ																
主な被害地域	瑞浪市 (地区名)		施設名 (種別)				被害程度										

土木施設被害状況報告書

(単位： 千円)

土木施設被害状況等報告書		概況 中間 確定		(瑞浪市)			
災害の種類		災害の発生の日時		年 月 日 時			
災害の発生場所							
報告の時限		月 日 時現在		発受信時刻		月 日 時 分	
発信機関		受信期間					
発信者		受信者					
区分	記号	県工事		市町村工事		計	
		①箇所数	②被害額	③箇所数	④被害額	⑤箇所数	⑥被害額
I 公 共	河川	ア					
	砂防	イ					
	地すべり	ウ					
	急傾斜	エ					
	道路	オ					
	橋梁	カ					
	下水道	キ					
	計	ク					
II 単 独	河川	ケ					
	砂防	コ					
	地すべり	サ					
	急傾斜	シ					
	道路	ス					
	橋梁	セ					
	下水道	ソ					
	計	タ					
計	河川	チ					
	砂防	ツ					
	地すべり	テ					
	急傾斜	ト					
	道路	ナ					
	橋梁	ニ					
	下水道	ヌ					
	計	ネ					
合 計	ノ						

応急対策その他の状況								
区 分	路線名	道路被災		橋梁被害				
		被災地	処置	橋名	地名	橋長幅員	河川名	処置
道路の状況	道路被害状況							
	上の交通確保措置							
河川の状況								
砂防の状況								
その他の状況								
市町村の被害状況	市町村名	種別	被害程度					
	瑞浪市							
記入上の注意事項								
I 公共欄 市町村工事、被害額 60万円以上のもの。								
II 単独欄 市町村工事、被害額 60万円未満のもの。								

様式 29 号

都市施設被害状況報告書

都市施設被害状況報告書		概況 中間 確定		(瑞浪市計)	
災害の種類別		災害発生の日時		年 月 日 時	
災害発生場所					
報告の期限		月 日 時 現在		発受信時刻	
月 日 時 分					
発信機関		受信機関			
発信者		受信者			
区分	記号	① 箇所数	② 被害面積 又は延長等	③ 被害額	備考
都市施設	ア			千円	
街路	イ				
公園	ウ				
堆積土砂排除作業	エ				
区画整理	街路	オ			
	公園	カ			
	水路	キ			
街路樹	ク				
合計	ケ				
主な被害地域	市町村名	種別	被害程度		
	瑞浪市				

教育関係被害状況等報告書

(1 面)

教育関係被害状況等報告書						(概況 中間 確定)		(瑞浪市計)			
災害の種別			災害発生日時			年 月 日 時					
災害の発生場所											
報告の時限			日 時現在			発受信時刻		月 日 時 分			
発信機関			受信機関								
発信者			受信者								
区 分		記号	単位	①	②	③	④	⑤	⑥	計	
被害施設数 (学校数等)		ア	カ所								
建 物	要 新 築	全 壊	棟数	イ	棟						
			金額	ウ	千円						
		半 壊	棟数	エ	棟						
			金額	オ	千円						
	要 補 修	棟数	カ	棟							
		金額	キ	千円							
計	棟数	ク	棟								
	金額	ケ	千円								
浸 水	棟数	コ	棟								
	金額	サ	千円								
土 地	件 数		シ	件							
	金 額		ス	千円							

区 分		記号	単位	①	②	③	④	⑤	⑥	計
工 作 物	件 数	セ	件							
	金 額	ソ	千円							
設 備	件 数	タ	件							
	金 額	チ	千円							
そ の 他 財 産	件 数	ツ	件							
	金 額	テ	千円							
そ の 他 ()	件 数	ト	件							
	金 額	ナ	千円							
被 害 額 合 計		ニ	千円							
主 な 被 害 地 域	市町村名	学 校 名	種 別	被 害 程 度						
	瑞浪市									

- 1 区分欄の記入順序は、県地域防災計画の調査報告の要領の順序により記入する。
- 2 全壊、半壊、要補修等被害の判定の基準は、県地域防災計画の調査報告の要領を参照すること。

様式 31 号

市有財産被害状況報告書

市有財産被害状況報告書									
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;"> 概況 中間 確定 </div>									
災害の種類別					災害発生日時		年 月 日 時		
機関施設名称									
報告の时限		月 日 時 現在			発受信時刻		月 日 時 分		
発信機関					受信機関				
発信者					受信者				
区分		単位	①数量	②被害額	区分		単位	①数量	②被害額
庁舎	全壊（焼）		棟		その他建物	全壊（焼）		棟	
	流失		棟			流失		棟	
	半壊（焼）		棟			半壊（焼）		棟	
	浸水	床上	棟			浸水	床上	棟	
		床下	棟				床下	棟	
	一部破損		棟			一部破損		棟	
	小計		棟			小計		棟	
公舎	全壊（焼）				敷地	流失		m ²	
	流失					その他		カ所	
	半壊（焼）				その他	財産		件	
	浸水	床上				物品		件	
		床下							
	一部破損				計				
	小計				被害施設数		施設		
応急措置 その他									

様式 32号

市有財産被害調査表

施設名				被災地	
被害、施設、設備名		数量	単価	金額	概要
			円	円	
施設被害					
設備被害					
物品被害					
その他					

様式 34 号

消防関係報告書（火災即報）

消防関係報告書(火災即報)										(概況 中間 確定)				
報告の時限	年 月 日 時 現在				発受信時刻	月 日 時 分								
発信機関	瑞浪市				受信機関									
発信者					受信者									
出火場所	市		町		丁目		番地							
	郡		村											
②出火日時	月	日	時	分	(覚知日時)	(月	日	時	分)	③鎮火日時	月	日	時	分
④出火種別					火元の業態				用途					
出火施設 責任者					事業所名									
⑤出火場所					出火原因									
⑥(1) 死者	性別	氏名			年齢	⑥(2) 負傷者	性別	氏名			年齢			
人						人								
⑦ 死者の生じた理由														
⑧ り災世帯者数			⑨(1) 焼損棟数	全 焼 部分焼	棟・半 焼 棟・ 計	棟 棟	⑨(2) 焼損面積	m ² (林野は a)						
⑩消防活動状況														
(1) 消防本 部・署	台 人		(2)消防団	台 人		(3)その他	台 人							
その他 参考事項														

(注) 様式中の①～⑩は、火災即報時に略号として使用するものである。

様式 35 号

〔災害概況即報〕

消防庁受信者氏名 _____

災害名 _____ (第 報)

報告日時	年 月 日 時 分
都道府県	
市町村 (消防本部名)	
報告者名	

災害の概況	発生場所					発生日時	月 日 時 分			
被害の状況	死傷者	死者	人	不明	人	住家	全壊	棟	一部破損	棟
		負傷者	人	計	人		半壊	棟	床上浸水	棟
応急対策の状況	災害対策本部等の設置状況	(都道府県)				(市町村)				

(注) 第一報については、原則として、覚知後 30 分以内で可能な限り早く、分かる範囲で記載して報告すること。(確認がとれていない事項については、確認がとれていない旨(「未確認」等)を記入して報告すれば足りること。)

様式 36 号

〔被害状況即報〕

都道府県				区 分			被 害	
災 害 名 ・ 報 告 番 号	災 害 名		第 報	そ	田	流失・埋没	ha	
						冠 水	ha	
報 告 者 名	(月 日 時現在)		そ	畑	流失・埋没	ha		
					冠 水	ha		
報 告 者 名				文教施設	箇所			
				病院	箇所			
区 分		被 害		道路	箇所			
人的被害	死 者		人	橋りょう	箇所			
	行方不明者		人	河川	箇所			
	負傷者	重 傷		人	港湾	箇所		
		軽 傷		人	砂防	箇所		
住家被害	全 壊		棟	の	清掃施設	箇所		
			世帯		崖くずれ	箇所		
			人		鉄道不通	箇所		
	半 壊		棟		被害船舶	隻		
			世帯		水道	戸		
			人		電話	回線		
	一 部 破 損		棟		他	電気	戸	
			世帯			ガス	戸	
			人			ブロック塀等	箇所	
	床 上 浸 水		棟					
			世帯					
			人					
害	床 下 浸 水		棟	り 災 世 帯 数		世帯		
			世帯	り 災 者 数		人		
			人	火災発生		建 物	件	
非住家	公 共 建 物		棟	危 険 物		件		
	そ の 他		棟	そ の 他		件		

区 分		被 害	災 等 害 の 対 設 策 置 本 状 部 況	都 道 府 県			
公 立 文 教 施 設	千円			市 町 村			
農 林 水 産 業 施 設	千円						
公 共 土 木 施 設	千円						
そ の 他 の 公 共 施 設	千円						
小 計	千円						
公共施設被害市町村数	団体						
そ の 他	農 業 被 害	千円	災 適 害 用 市 町 助 村 法 名	計	団体		
	林 業 被 害	千円					
	畜 産 被 害	千円					
	水 産 被 害	千円					
	商 工 被 害	千円					
そ の 他			消 防 職 員 出 動 延 人 数	人			
被 害 総 額	千円		消 防 団 員 出 動 延 人 数	人			
備 考	災害発生場所						
	災害発生年月日						
	災害の種類概況						
	応急対策の状況 ・ 消防、水防、救急・救助等消防機関の活動状況 ・ 避難の勧告・指示の状況 ・ 避難所の設置状況 ・ 他の地方公共団体への応援要請、応援活動の状況 ・ 自衛隊の派遣要請、出動状況						

※被害額は省略することができるものとする。

様式 37号

非 常 通 信 用 紙

発 信 者 名	発 信 者 の 住 所	発信者の電話番号

種 類	字 数	発 信 局 名	発信番号	受付月日	時刻
				月 日	時 分

あ て 先	(電話)				
-------------	-------	--	--	--	--

指 定		局内心 得			
-----	--	----------	--	--	--

本 文					

受 信		送 信		配達時刻	取扱者名	取扱責任者	通信担当者
相手局	受 付 時 刻	相手局	送 信 時 刻				

- 備考
- 1 時刻はすべて24時間制で記入のこと。
 - 2 あて先に受信者の電話番号を記入のこと。
 - 3 通報の中継を行ったときは、局内心得に自局名を記入のこと。
 - 4 本文の末尾にかならず発信者名を記入のこと。
 - 5 この用紙を災害時に使用するときは赤で非常と種類欄に記入する。

水防実施状況報告書

(水防管理団体が水防を行った箇所ごとに作成するもの)

作成責任者 ㊦

水防管理団体名	指定・非指定の別		年月日	平成	年	月
	報告	別				
水防実施等の台風名又は豪雨名	川	警戒水位	m	管理団体分	年	計
出水の概要	川	雨量	mm	円	分	円
水防実施箇所	支	川	m	円	年	円
左・右岸	支	地先	m	円	年	円
日時	自	日	時	至	日	時
出動人員数	水防団員	消防団員	自衛隊員	その他	計	人
水防作業の概況及び工法	工法	箇所数	延長	合計	功労者の氏名・年齢・所属功績概要	
水防の結果	堤防	田	畑	家屋	一般公共施設	人口
種類	m	m ²	m ²	戸	戸	人
効果	被	害	か	所	判	
被	害					
水防の結果	破堤の原因(破堤した場合は水防活動に関する自己批判)					

使用資機材費内訳

									瑞浪市
水防 実施場所	X	主要資材内訳				その他資機材			合計 A+B (円)
		麻袋	なわ	杭		小計 A (円)	発煙筒		
	数量								
	金額								
	数量								
	金額								
	数量								
	金額								
	数量								
	金額								

- (注) 1 主要資機材内訳欄には、次に掲げる資材のうち、該当があれば記入すること。
 俵、かます、たたみ、むしろ (以上枚)、竹 (束)、丸太 (本)、くぎ (kg)、板 (石)、鉄線 (kg)、
 かすがい (丁)、蛇籠 (本)、置石 (ヶ)
- 2 その他の資機材欄には、発煙筒、カーバイト等を記入すること。
- 3 県から応援をうけたものは () 書すること。

様式 40 号

被災者台帳

(表面)

被災区分		番号								
(世帯主) 被災者	住所		氏名	続柄	性別	年齢	職業	学校(学年)		摘要
	氏名									
	職業									
災害の原因										
被災年月日										
被災場所										
被災状況	住宅									
	その他の家屋									
	家財									
	生命		備考							
	その他									

- (注) 1 本台帳の大きさは、A4とする。
 2 被災者住所、職業、氏名欄の氏名は、世帯主名を記載する。
 3 負傷者等についてはそれぞれの氏名欄の摘要に記載する。

被災者台帳

(裏面)

月 日	援 護 状 況 等

(注) 援護状況等欄には、救助用支給物資の内訳はもちろん仮設住宅、生業資金、医療救助等救助内容を記載し、できれば義援金品の内容も明記すること。

罹 災 証 明 書 (一般)

世帯主住所			
世帯主氏名			
世帯構成員	氏 名	続柄	生年月日

罹災原因	年 月 日の による
------	------------

罹 災 住 家 ※ の 所在地	
住家※の被害程度	<input type="checkbox"/> 全壊 <input type="checkbox"/> 大規模半壊 <input type="checkbox"/> 中規模半壊 <input type="checkbox"/> 半壊 <input type="checkbox"/> 準半壊 <input type="checkbox"/> 準半壊に至らない (一部損壊)
浸水区分	

※住家とは現実に住居（生体が生活の本拠として日常的に使用していることをいう。）のために使用している建物のこと。（被災者生活再建支援金や災害救助法による住宅の応急修繕等の対象となる住家）

住家以外の被害	
---------	--

上記のとおり、相違ないことを証明します。

年 月 日

瑞浪市長

印

様式 42 号

罹 災 証 明 書(商工業者)

第 号		罹 災 証 明 書	
申 請 者 住 所			
申 請 者 氏 名			
事 業 所 住 所		瑞浪市	町 丁目 番地
事 業 所 名			
災 事 項	災 害 の 原 因		
	災 年 月 日 時	年	月 日 時 分
	災 場 所		
	災 程 度	全壊、半壊、全焼、半焼、流失、一部破損	

上記のとおり災したことを証明する。

年 月 日

瑞浪市長

印

(注) 本証明書の大きさはA4とする。

様式 43 号

仮 罹 災 証 明 書

第 号

り災者住所
世帯主氏名

- 1 り災の種別
- 2 被害の状況 名
- 3 世帯員
 - 内 大人 男 名, 女 名
 - 小人 男 名, 女 名
 - 乳児 名
- 4 その他

上記のとおりり災したことを証明する。

年 月 日

瑞浪市長

印

注意事項

- 1 この証明書は、 月 日 時に において本証明書と切替えますから必ず持参して下さい。
- 2 この証明書では、救助用の物資の支給その他救助は受けられませんから必ず本証明書に切りかえて下さい。

様式 44 号

第 号		り 災 者 旅 行 証 明 書	
住 所			
職業、氏名、年齢	才		
家 族 数	大人 名	小人 名	計 名
乗 車 月 日	年 月 日		
乗 車 区 間	線	駅から	駅まで
そ の 他			
<p>上記の者は、災害によるり災者で旅行（避難）する者であることを証明する。</p> <p>年 月 日</p> <p style="text-align: right;">瑞浪市長 印</p>			

- (注) 1 本証明書の大きさは A4 とする。
- 2 発行にあたっては、被災者台帳にその旨記載、契印すること。

様式 45 号

救 助 日 報

報告機関				受信機関				
発信者				受信者				
報告時限		月 日 時現在		受信時間		月 日 時 分		
避難 所 開 設	開設期間	開設日時	日 時	被 服 寝 具 生 活 必 需 品 給 与	県より受入又は前日よりの繰 越量		点	
		閉鎖予定日	月 日					
	既存建物	箇所数	カ所		本日支給	全失世帯数		(世帯) 点
		収容人員	人			半失、床上浸水世 帯数		(世帯) 点
	野外仮設	箇所数	カ所		翌日への繰越量		点	
収容人員		人						
炊 き 出 し	炊き出し 期間	開始月日	月 日	医 療 、 助 産 救 助	医療班	医療班出動数		ヶ班
		終了予定日	月 日			救助地区		
	炊き出し箇所数		カ所		診療者数	医 療	人	
	炊き出し 人員	朝	人			助 産	人	
		昼	人		医療 機 関	医 療	施設数	カ所
夕		人	診療人員	人				
計	人	助 産	施設数	カ所				
給 水	供給地区数		地区	被 災 者 救 出	救助終了予定月日		月 日	
	供給実人員		人		救出地区			
	供給水量		ℓ		救出をした人員	人		
	給水期間	開始月日	月 日		今後救出を要する人員	人		
		終了予定日	月 日		救出終了予定月日	月 日		
給水方法				救出の方法				

学用品支給	県より受入又は前日よりの繰越量			点	遺体の処理	死亡原因別人員		
	本日支給	小学生	全失世帯	(人)点		遺体処理	遺体洗浄	体
			半失(床上浸水)世帯	(人)点			遺体縫合	体
	中学生	全失世帯	(人)点	遺体消毒			体	
		半失(床上浸水)世帯	(人)点	既存建物利用		カ所		
	翌日への繰越量					点	遺体保存	仮設建物
前日までの埋葬				体	遺体処理機関			
埋葬救助	本日埋葬	大		人	体	将来遺体処理を要する遺体	体	
		小		人	体	遺体処理終了予定月日	月日	
		計			体	障害物除去を要する戸数	戸	
	翌日以降の要埋葬数				体	本日除去した戸数	(計)戸	
	埋葬終了予定月日				月日	今後除去を要する戸数	点	
	埋葬終了予定月日				月日	障害物除去の終了予定月日	月日	
遺体の搜索	搜索地区				輸送	公用車使用	台	
	遺体	搜索を要する遺体		体		借上車使用	台	
		本日発見遺体		体		救助の種類		
		今後の要搜索遺体		体				
搜索の方法				人夫	人夫雇上数	人		
搜索終了予定月日		月日			従事作業			
仮設住宅	着工	月	日	戸	備考	その他		
	竣工	月	日	戸				
住宅修理	着工	月	日	戸				
	竣工	月	日	戸				

様式 46 号

避 難 指 示 報 告 書			
年	月	日	所属職氏名印
市 長		副市長	
部 長		課 長	課長補佐 係 長
指示の日時	月 日 時 分		
避難すべき状況			
伝 達 方 法			
指示対象者 と避難先	対 象 者	避 難 先	
関係課等への 連絡			
解 除 日 時	月 日 時	公示 方法	

(注) 事前に提出できない場合は、事後速やかに提出のこと。

様式 47 号

避難所設置及び収容状況

避難所の名称	種別	開設期間	実人員 (人)	延人員 (人)	物品使用状況		実支出額	備考
					品名	数量		
計	既存建物							
	野外仮設							
	天幕							
	計							

- (注) 1 種別欄は、既存建物、野外仮設、天幕の別に記入すること。
- 2 物品の使用状況は、開設期間中に使用した品目別の使用数量を記入すること。
- 3 他市町村の住民を収容した時は、その住所、氏名及び収容期間を備考欄に記入すること。

様式 48 号

避難所収容者名簿

避難所

氏 名		住 所	特記事項 (要介護者、乳幼児、アレルギー等)	収容状況					
世 帯 主	構 成 員			日	日	日	日	日	日

- (注) 1 この名簿は、開設後できる限り速やかに作成すること。
- 2 この名簿は、避難所の受付に備付け、郵便物の受理、来訪者の対応等に利用すること。
- 3 収容状況欄には、その日の収容人数を記載すること。
- 4 避難所単位で炊き出しを配給するような場合においては、一時的に「炊き出し受給者名簿」を兼ね、後日同帳簿に転記して差し支えないこと。

様式 49 号

炊き出し給与状況

															瑞浪市			
炊き出し場の名称	月 日			月 日			月 日			月 日			月 日			合計	実支出額	備考
	朝	昼	夕	朝	昼	夕	朝	昼	夕	朝	昼	夕	朝	昼	夕			
																	円	
計																		

(注) 1 「備考」欄には、給食内容を記入すること。

水道断水状況報告

水道事業者名(設置者)

年 月 日 現在

水道名	現在給水人口	水源別の施設能力	被害状況	給水状況				今後の見通しと対策
				給水対象	給水状況と給水量	実施月日	応急給水等の処置	

(注) 1 報告すべき場合及び報告の内容

風水害、地震等により被害を受け又は渇水等のため、断減水を生じた場合及び発生が予想される場合に報告する。

2 報告の方法

報告責任者を定め所管する保健所に提出する。保健所は、1部を県業務水道班に提出する。緊急を要するときは、電話によって行い、後刻本書を提出する。

3 報告書作成要領

- (1) 水道名……市町村営の場合は、市町村名を記入する。
- (2) 現在給水人口……原則として前月現在とする。
- (3) 水源別の施設能力……水源別は平常時に稼働しうる施設能力とする。
- (4) 被害状況……災害等の場合は被害箇所、被害状況を記載する。渇水等の場合は、貯水池の水量、河川流量等の状況を記載する。
- (5) 給水対象……断減水の状況により区分し、それぞれの配給人口を記載する。
- (6) 給水量……実際の給水量を記載する、必要により需要水量(正常に給水した場合の必要水量)を付記する
- (7) 実施年月日……制限給水等を行った月日を記載する。
- (8) 応急給水等の措置……給水車等による応急給水の措置を記入する。自衛隊の応援を受けた場合は特記する
- (9) 今後の見通しと対策
- (10) その他特記すべき事項

様式 52 号

飲料水の供給簿

										瑞浪市	
供給 月日	対象 人員	給水用機械器具								実支出額	備考
		名称	借上			修繕			燃料費		
			数量	所有者	金額	修繕 月日	修繕費	修繕の 概要			
月日 (記載例) 9.12	人 3,000	空輸	1	自衛隊	円 0	月日	円		円	円 0	
		給水車	2	岐阜消防	20,000					20,000	
(記載例) 9.13	35,000	給水車	2	岐阜消防	20,000	9.12	1,000	タイヤ パンク修理		21,000	
		給水タンク	1	自衛隊	0					0	
計											

(注) 1 給水用機械器具は、借上げの有償、無償の別を問わず作成するものとし、有償による場合のみ「金額」欄に額を記入すること。
 2 「修理の概要」欄には、修理の原因及び主な修理箇所を記入する。

様式 54号

世帯構成員別被害状況

				瑞浪市		
区 分		全 壊 (焼)	流 失	半 壊 (焼)	床上浸水	
世帯構成員別世帯数	1人世帯	世帯	世帯	世帯	世帯	
	2人世帯					
	3人世帯					
	4人世帯					
	5人世帯					
	6人世帯					
	7人世帯					
	8人世帯					
	9人世帯					
	10人世帯					
	11人世帯					
	12人世帯					
	13人世帯					
	14人世帯					
	15人世帯					
	計					
構成員内訳	大 人	男	人	人	人	人
		女				
	小 人	男				
		女				
児童生徒	小 学 生	人	人	人	人	
	中 学 生					

(注) 本報告は、市本部においてできるだけ調査報告に努めるものとするが、全事項について調査累計が不可能なときは、とりあえず世帯構成員別世帯数のみ調査報告する。

物資の給与状況

											瑞浪市		
住家 被害 程度 区分	世帯 氏名	基礎 とな った 世帯 構成 人員	給与 月日	物資給与の品名								実支 出額	備考
				布 団	毛 布	作 業 衣	な べ						
計	全壊	世帯											
	半壊	世帯											
<p>災害救助物資として上記のとおり給与したことに相違ない。</p> <p style="text-align: center;">年 月 日</p> <p style="text-align: right;">給与責任者氏名</p>													

- (注) 1 住家の被害程度に、全壊（焼）、流失又は半壊、床上浸水の別を記入すること。
 2 年月日欄には、その世帯に対して最後に給与された物資の年月日を記入すること。
 3 物資の給与の品名欄に記入すること。

住宅総合災害対策報告書

月 日 現在
瑞浪市

区 分	記号	(滅失戸数)		③床上浸水戸数	④一部破損戸数	⑤備考
		①全失戸数	②半失戸数			
被害状況	災害救助基準	ア				
	公営住宅基準	イ				
災害救助	仮設住宅建設	ウ				
	住宅応急修理	エ				
	障害物除去	オ				
	計	カ				
公営住宅	災害公営住宅建設	キ				
	一般公営住宅建設	ク				
	既設公営住宅復旧	ケ				
	計	コ				
住宅融資	住宅金融支援機構 災害復興住宅融資	サ				
		小計	シ			
融資	低所得世帯融資	世帯更生資金	ス			
		母子福祉資金	セ			
		小計	ソ			
		計	タ			
既存施設収容	既存公営住宅入居	チ				空家 戸
	社会福祉施設収容	ツ				
	計	テ				
合計	ト					

- (注) 1 被害状況には、公営住宅の被害があるときは () 内書きする。
 2 被害状況の災害救助基準は、住家等一般被害状況の戸数により又公営住宅基準は、「6 災害公営住宅の建設及び入居」による基準によって調査した戸数 (例：アパートは1世帯1戸等) を記載する。
 3 各対策については、建設、補修等の予定計画数を該当する被害区分欄に記載する。
 4 災害公営住宅と一般公営住宅との区分が明確でないものについては{ }として一括記載する。
 5 社会福祉施設収容者については、備考欄に施設名 (予定) を記載する。
 6 本報告は、災害発生後5日以内に報告する。なお、とりあえず電話によって報告するときは次の順序による。
 1 ア、イ、ウ
 2 ア、イ、エ
 3 - - -
 7 本報告書提出時に次の書類を添えて提出するようにするものとする。
 応急仮設住宅入居該当世帯調 (地図添付)
 住宅応急修理該当世帯調 (地図添付)
 障害物除去該当世帯調

様式 57 号

応急仮設住宅入居該当世帯調

番号	被 台 番	災 帳 号	世 帯 主 名	職 業	住 所	家 族 人 員		生 活 程 度	摘 要
						人 員 数	同 左 中 可 働 者		
1									
2									
3									
4									
5									
6									
7									
8									
9									
10									

- (注) 1 本調は、住宅対策報告書に添えて（更に本調に地図を付する。）提出する。
 2 番号は優先順位を記載し、補欠は補欠 1、2 とする。
 3 生活程度は、上、中、下、保護世帯に区分して記載する。
 4 身体障害世帯、母子世帯等特殊世帯にあつては摘要欄に記載する。

様式 58 号

応急仮設住宅入居者台帳

									瑞浪市		
応急仮設住宅番号	世帯主氏名	家族数	所在地	構造区分	面積	敷地区分	着工年月日	竣工月日	入居月日	実支出額	備考
		人					月日	月日	月日	円	
計	世帯										

- (注) 1 「応急仮設住宅番号」欄は、応急仮設住宅に付した番号とし、設置箇所を明らかにした図面を作成し添付すること。
- 2 「家族数」欄は、入居時における世帯主を含めた人員数を記入すること。
- 3 「所在地」欄は、応急仮設住宅を建設したところの住所を記入すること。
- 4 「構造区分」欄は、木造住宅、プレハブ住宅の別を記入すること。
- 5 「敷地区分」欄は、公私有別とし、有、無償の別も明らかにすること。
- 6 「備考」欄には、入居後における経過を明らかにしておくこと。

入居誓約書

災害救助法による応急仮設住宅入居誓約書

年 月 日発生の 災害により災害救助法に基づき設置された応急仮設住宅に入居のうへは、次の事項を厳守して、当該住宅の維持、保全に最善の注意を払うことを誓約いたします。

年 月 日

入居者（世帯主） 住所
氏名

誓約立会人（民生委員） 住所
氏名

瑞浪市長 殿

記

誓 約 事 項

- 1 入居期間は、入居の日から2ヵ年以内(年 月 日まで)とする。
- 2 入居後においては、当該住宅の模様替え（建増し、改築等）は一切これをしない。
ただし、やむを得ぬ理由により知事の許可を得て模様替えをした場合は、これに基づく当該財産権の主張は、一切しないこと。
- 3 入居後において当該住宅以外の居宅を得たときは、直ちに退去すること。
- 4 入居したうへは、当該仮設住宅についての不服を申しないこと。
- 5 仮設住宅の転貸又は世帯員以外の者の同居はしないこと。
- 6 修理義務箇所を生じたときは、当該者の責任において市町村長と連絡のうへ実施すること。
- 7 入居資格をなくしたとき又は退去を命ぜられたときは、通知をうけた日又は事由の発生した日から30日以内に無条件で退去すること。
- 8 その他指示されたすべての事項は遵守すること。

様式 60号

住宅応急修理該当世帯調

番号	被災台帳番号	氏名	職業	住所	家族人員		生活程度	瑞浪市		
					人員数	同左中 可働者		障害程度	修理予定箇所	備考
1										
2										
3										
4										
5										
6										
7										
8										
9										
10										

- (注) 1 本調は、地図を添えて提出する。
 2 番号は、優先順位を記載し、補欠は補欠1、2とする。
 3 生活程度は、上、中、下、保護世帯に区分して記載する。
 4 被害程度は、半壊、半焼、半流失に区分して記載する。
 5 修理箇所はできるだけ具体的に記載する。
 6 身体障害世帯、母子世帯等にあつては、備考欄に記載する。

住宅応急修理記録簿

瑞浪市

世帯主氏名	修理箇所概要	完了月日	実支出額	備考
		月 日	円	
計	世帯			

様式 62 号

障害物除去該当世帯調

番号	被災台帳番号	氏名	職業	住所	家族人員		生活程度	瑞浪市	
					人員数	同左中 可働者		障害物の状況	備考
1									
2									
3									
4									
5									
6									
7									
8									
9									
10									

- (注) 1 本調は、地図を添えて提出する。
 2 番号は、優先順位を記載し、補欠は補欠 1、2 とする。
 3 生活程度は、上、中、下、保護世帯に区分して記載する。
 4 被害程度は、半壊、床上浸水に区分して記載する。
 5 障害物の状況は、できるだけ具体的に記載する。
 6 身体障害世帯、母子世帯等にあつては、備考欄に記載する。

様式 63 号

障害物除去記録簿

瑞浪市

住家被害 程度区分		氏 名	除去に要した 期 間	実支出額	除去に要すべき状態の概要	備 考
			月 日～ 月 日	円		
計	半壊 (焼)	世帯				
	床上 浸水	世帯				

公費負担者 番 号							有効期限	日から 日まで	
受給者番号							単独・併用別	単独・併用	
※交付番号									
氏名	(男・女) 明・大・昭・平 年 月 日生								
居住地									
指定医療 機 関 名									
傷病名	(1)						診療別	入 院 歯 科	
	(2)							入 院 外 調 剤	
	(3)						本人支払額	訪 問 看 護	円
地区担当員名	取扱担当者名								
									福祉事務所長 印
備 考	社 会 保 険					あり (健・共) なし			
	感染症の予防及び感染症患者に対する医療に 関する法律第 37 条の 2					あり なし			
	そ の 他								

医薬品等調達要請書

第 号

年 月 日

発信時刻 午前・午後 時 分

岐阜県災害対策本部長 様

瑞浪市災害対策本部長 印

医薬品等の調達を下記のとおり申請する。

記

1 医薬品等を必要とする病院等

- (1) 名称
- (2) 所在地
- (3) 代表者

2 必要とする医薬品等

品 名	規 格 等	数 量	備 考

3 輸送方法等

- (1) 場所
- (2) 輸送方法
- (3) 受領者

ア 所属

イ 職名

ウ 氏名

医療班出動編成表

医療班出動報告書						
医療班名				医療班所属		
職名	氏名	住所	区分	日時		
班長	医師		地区	自	月時	日分
				至	月時	日分
			地区	自	月時	日分
				至	月時	日分
			地区	自	月時	日分
				至	月時	日分
			解 散	自	月時	日分
計	名					

- (注) 1 本報告書は医療班ごとに出動単位に作成する。
- 2 班員の一部が途中で引き揚げあるいは参加したときは、摘要欄にその旨記載する。
- 3 従事（出動）を命じた担当者等が、適宜空白箇所に従事した事実の証明を行うものとする。
- 4 本報告書は、経費請求時に添えて提出する。

様式 67号

医療救護活動報告書

医療班名				班長医師 氏 名		
月 日	医療活動場所	患者数	措置の概要		経費	備考

- (注) 1 患者数欄には、男女別患者数を記入すること。
 2 「備考」欄には、班の編成、活動期間を記入すること。

様式 68 号

医療班医薬品衛生材料使用記録

医療班名				担当医師 班長名									
品名	単位 呼称	単価 (円)	受入先	払								残	備考 (円)
				日	日	日	日	日	日	日	日		
計 残品は病院に返品。購入品も病院より業者払												使用額計	円

- (注) 1 備考欄に使用数量に見合う金額を記載する。
 2 本記録の控えは、経費要求時に添えて提出する。
 3 その時に記録できない部分は事後に整理する。

様式 69 号

病院診療所医療実施状況

診療機関名	患者 氏名	診療 期間	病名	診療区分		瑞浪市		備考	
				入院	通院	診療報酬点数			金額 (円)
						入院 点	通院 点		
合計									
機関	人								

様式 70 号

助産台帳

瑞浪市

分べん者氏名	分べん日時	助産機関名	分娩期間	金 額	備 考
			月 日～ 月 日	(円)	
計					

様式 73 号

被災教科書報告書

区 分		小中学校 瑞浪市					
教科	学年	発行所名	教科書記号番号	教科書名	冊数	単価	金額
計							

- (注) 1 区分欄は、次の二つに分けて作成する。
- (イ) 摘要被災 災害救助法による支給対象者分
 - (ロ) 不適用 災害救助法適用地域ではあるが、住家の被害が適用基準に達しないもの及び災害救助法が適用にならなかった市町村分、いわゆる私費負担分
- 2 本報告書は、学校教育班から市本部へ、市本部から県支部へ（3部）提出するものとする。県支部は、県本部へ（2部）提出するものとする。

様式 74 号

学用品の給与状況

瑞 浪 市

学校名	学年	児 童 (生徒) 氏 名	親 権 者 氏 名	給 与 月 日	給与品の内訳						実支 出額	備 考
					教科書			その他学用品				
					国 語	算 数		鉛 筆	ノ ー ト			
				月 日							円	
計	小学校	/	人	/							円	
	中学校	/	人	/							円	

学用品を上記のとおり給与したことに相違ない。

年 月 日

給与責任者氏名
(学校長)

印

- (注) 1 給与月日は、その児童（生徒）に対して、最後に給与した給与月日を記入すること。
2 給与の内訳欄には、数量を記入すること。

様式 75 号

学用品引継書

学用品引継書																																																											
引継者	機関名		職氏名		㊟																																																						
引受者	機関名		職氏名		㊟																																																						
<p style="text-align: center;">学用品次のとおり引き継ぎました。</p> <p style="text-align: center;">記</p> <p>1 引継日時</p> <p>2 引継場所</p> <p>3 引継物資 次表のとおり (車両番号)</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; margin-top: 10px;"> <thead> <tr> <th style="width: 15%;">物資名</th> <th style="width: 10%;">単位</th> <th style="width: 15%;">輸送数量</th> <th style="width: 15%;">引継数量</th> <th style="width: 15%;">差引過不足</th> <th style="width: 30%;">過不足を生じた理由その他</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td></tr> </tbody> </table>						物資名	単位	輸送数量	引継数量	差引過不足	過不足を生じた理由その他																																																
物資名	単位	輸送数量	引継数量	差引過不足	過不足を生じた理由その他																																																						

(注) 2部作成し、引継・引受機関ともに保管する。

様式 76 号

死亡診断書(遺体検案書)

この死亡診断書(遺体検案書)は、我が国の死因統計作成の資料としても用いられます。かみ書で、できるだけ詳しく書いてください。

記入の注意

氏名	1 男	明治 昭和	年 月 日
	2 女	大正 平成 令和	午前・午後 時 分
死亡したとき	令和 年 月 日 午前・午後 時 分		
死亡したところ及びその種類	死亡したところの種類	1 病院 2 診療所 3 老人保健施設 4 助産所 5 老人ホーム 6 自宅 7 その他	
	死亡したところ	番 地	号
	(死亡したところの種類 1~5) 施設の名称	()	
死亡の原因 ◆ I 欄、II 欄ともに疾患の終末期の状態としての心不全、呼吸不全は書かないでください。 ◆ I 欄では、最も死亡に影響を与えた傷病名を医学的因果関係の順番で書いてください。 ◆ I 欄の傷病名の記載は各欄一つにしてください。 ただし、欄が不足する場合は(エ)欄に残りを医学的因果関係の順番で書いてください。	I	(ア) 直接死因	発病(発症)又は受傷から死亡までの期間 ◆年、月、日等の単位で書いてください。 ただし、1日未満の場合は、時、分等の単位で書いてください。 (例：1年3ヵ月、5時間20分)
		(イ) (ア)の原因	
		(ウ) (イ)の原因	
		(エ) (ウ)の原因	
	II	直接には死因に関係しないが、I 欄の傷病経過に影響を及ぼした傷病名等	
	手術	1 無 2 有 { 部位及び主要所見 }	手術年月日
解剖	1 無 2 有 { 主要所見 }		
死因の種類	1 病死及び自然死 不慮の外因死 { 2 交通事故 3 転倒・転落 4 溺水 5 煙、火災及び火焔による傷害 } 外因死 { 6 窒息 7 中毒 8 その他 } その他及び不詳の外因死 { 9 自殺 10 他殺 11 その他及び不詳の外因 } 12 不詳の死		
	外因死の追加事項		
◆伝聞又は推定情報の場合でも書いてください。	傷害が発生したとき	令和・平成・昭和 年 月 日 午前・午後 時 分	
	傷害が発生したところの種類	1 住居 2 工場及び建築現場 3 道路 4 その他 ()	
	傷害が発生したところ	都道 府県	市 郡 区 町村
	手段及び状況		

←生年月日が不詳の場合は、推定年齢をカッコを付して書いてください。

夜の12時は「午前0時」、昼の12時は「午後0時」と書いてください。

←「5 老人ホーム」は、養護老人ホーム、特別養護老人ホーム、軽費老人ホーム及び有料老人ホームをいいます。

死亡したところの種類で「3 介護医療院・介護老人保健施設」を選択した場合は、施設の名称に続けて、介護医療院、介護老人保健施設の別をカッコ内に書いてください。

傷病名等は、日本語で書いてください。
I 欄では、各傷病について発病の型(例：急性)、病因(例：病原体名)、部位(例：胃噴門部がんと)、性状(例：病理組織型)等もできるだけ書いてください。

妊娠中の死亡の場合は「妊娠満何週」、また、分娩中の死亡の場合は「妊娠満何週の分娩中」と書いてください。

産後1年未満の死亡の場合は「妊娠満何週産後満何日」と書いてください。

← I 欄及び II 欄に関係した手術について、術式又はその診断名と関連のある所見等を書いてください。紹介状や伝聞等による情報についてもカッコを付して書いてください。

←「2 交通事故」は、事故発生からの期間にかかわらず、その事故による死亡が該当します。
「5 煙、火災及び火焔による傷害」は、火災による一酸化炭素中毒、窒息等も含まれます。

←「1 住居」とは、住居、庭等をいい、老人ホーム等の居住施設は含まれません。

←傷害がどういう状況で起こったかを具体的に書いてください。

生後 1 年未満で 病死した場合の 追加事項	出生体重 グラム	単胎・多胎の別 1 単胎 2 多胎 (子中第 子)		妊娠週数 満 週
	妊娠・分娩時における母体の病態又は異状 1 無 2 有	母の生年月日 年 月 日 昭和 平成 令和	前回までの妊娠の結果 出生児 人 死産児 胎 (妊娠満 22 週以後に限る)	
その他特に付言すべきことがら				
上記のとおり診断(検案)する 診断(検案)年月日 令和 年 月 日 本診断書(検案書)発行年月日 令和 年 月 日 番地 番 号 (病院, 診療所, 介護医療院若し しくは介護老人保健施設等の名 称及び所在地又は医師の住所) (氏名) 医師				

←妊娠週数は、最終月経、基礎体温、超音波計測等により推定し、できるだけ正確に書いてください。
母子健康手帳等を参考に書いてください。

←氏名の欄には、医師本人が署名してください。記名押印は原則不可です。

様式 77 号

遺体捜索状況記録簿

						瑞 浪 市	
年月日	捜索地区	捜索死体	捜 索 用 機 械 器 具			金 額	備 考
			名 称	数 量	所有（管理）者名		

- (注) 1 捜索用機械器具は、借上費の有無償の別を問わず記載するものとし、有償による場合のみその借上費を記載する。
- 2 その他は記載例に準じて記載する。

様式 78 号

遺体捜索用機械器具修繕簿

					瑞浪市	
機械器具の 名称	所有（管理） 者名	故 障 年月日	故障の概要	修 繕 年月日	修 繕 費	備 考
					円	

- (注) 1 「故障の概要」欄は、故障の原因及び主な故障個所を記入すること。
 2 その他記載例に準じて記載する

様式 79 号

遺 体 処 理 台 帳

									瑞 浪 市		
処 理 年月日	死体発見 の日時及 び場所	死亡者 氏 名	遺 族		洗 浄 等 の 処 置			死体の 一 時 保存料	搜索料	実支出額	備考
			氏 名	死亡者と の関係	品名	数量	金額				
							円	円	円	円	
計		人									

様式 81 号

埋 葬 台 帳

瑞浪市

死 亡 年月日	埋 葬 年月日	死 亡 者		埋 葬 を 行 っ た 者		埋 葬 費				備 考
		氏 名	年 齢	死 亡 者 と の 関 係	氏 名	棺 (付 属 品 を 含 む)	埋 葬 又 は 火 葬 料	骨 箱	計	
計		人								

様式 82 号

災害防疫経費所要額調

事項	区分	所要経費			備考
		員数	単価	金額	
1) 予防委員諸費			円	円	
	委員手当				実人員 人
	委員旅費				実人員 人
2) 清潔消毒方法諸費					
	清潔方法				内訳別紙 (イ) のとおり
	消毒方法				内訳別紙 (ロ) のとおり
3) 予防救治諸費					
	雇上費				
	旅費				
	物件費				
	診療委託費				
4) 感染症院隔離病舎諸費					
	雇上費				
	患者諸費				
	医療費				
	検査費				
	消毒費				
	給食費				
	患者輸送費				
	入院費				
	管理費				
	建物修理費				
5) 委託入院費		延 人	円	円	実人員 人
6) 臨時隔離病舎諸費					收容実人員
	雇上費				人
	患者諸費				收容延人員
	医療費				人
	検査費				職種別人員
	消毒費				
	給食費				雇上日数
	患者輸送費				
	管理費				
7) 予防救治従事者の手当等諸費					
	特殊勤務手当	延 人			実人員 人
	療治料、弔祭料				
8) 交通遮断隔離等諸費					
	交通遮断隔離生活補給費	延 人			実人員 人
9) 感染症貧民患者及び死者等諸費					
	生活補給費				実人員 人
	死体消毒費				実施件数 件
	埋火葬費				実施件数 件
10) 鼠族昆虫駆除費		延 戸			実施実戸数 戸
					実施地域 (字) 内容別紙のとおり
11) 家用水供給費					対象実人員 人 給水日数 日
12) 災害救助法第 19 条の 2 手当金					
13) 予防事務費					内訳別紙 (二) のとおり
14) 設備整備費					設備名 台数 理由
計					

別紙（イ）清潔方法に要する経費内訳

科 目	品 目	員 数	単 価	金 額	備 考
賃 金			円	円	実施回数
	人 夫 賃				
消耗品費					
医薬材料費					
計					

別紙（ロ）消毒方法に要する経費内訳

科 目	品 目	員 数	単 価	金 額	備 考
賃 金			円	円	
	人 夫 賃				
消耗品費					
医薬材料費					
計					

別紙（ハ）鼠族昆虫駆除費内訳

科 目	品 目	員 数	単 価	金 額	備 考
賃 金			円	円	
	人 夫 賃				
消耗品費					
医薬材料費					
計					

災害防疫業務完了報告書

- 1 災害発生年月日
- 2 災害の原因
- 3 被害の概要
- 4 縣市町村のとした防疫措置の概要
 - (1) 災害防疫本部の活動（防疫実施の方針及び主要作業日程を含む）
 - (2) 災害防疫活動
 - (ア) 予防宣伝 (イ) 調査指導 (ウ) 検病調査 (エ) 患者処理
 - (オ) 飲料水の確保及び井戸の消毒 (カ) 消毒方法 (キ) ねずみ族昆虫駆除
 - (ク) 避難所の防疫指導 (ケ) し尿処理の指導 (コ) 泥土、堆積物の処理及び清潔方法
 - (サ) その他特記すべき事項
- 5 感染症の発生状況
- 6 予防接種
- 7 感染症院隔離病舎等の被害状況
- 8 災害防疫所要額
 - (1) 防疫作業費
 - (ア) 県事業 (イ) 市町村事業分 (F「災害防疫経費所要額調」の(B)による)
 - (2) 感染症院隔離病舎等災害復旧費

環境大臣殿

瑞浪市長

廃棄物処理施設被害状況の報告について

標記のことについて、 年 月 日の（災害名） により下記のとおり被害を受けたので、報告します。

記

1 災害の概要

（具体的に記入すること、特に暴風、豪雨、洪水による被害の場合は
降雨量（1 時間最大雨量、24 時間最大雨量）を必ず記入すること。）

2 全般的被害状況

市町村名	人的被害			住家の被害					備考
	死者	行方不明	負傷者	全壊	流出	半壊	床上浸水	床下浸水	
	人	人	人	戸	戸	戸	戸	戸	

3 廃棄物処理施設の被害状況

(1) 被害の概要

(具体的に記入すること。)

(2) 設置主体名

瑞浪市

(一部事務組合の場合は、構成市町村名を付記すること。)

(3) 施設名

(4) 処理方式

(5) 規模

(6) 被害額

円

(7) 復旧見込額

円

(8) 建設年度

～ 年度

(9) 建設に要した総事業費

円

(国庫補助金 県費補助金 その他)	円
	円
	円

(10) 災害復旧見込額内訳

区分	員数	単価	金額	備考
送水管復旧工事	1 式	円	円	別紙設計書のとおり
電動機 (3.7kw) 分解修理	2 台			別紙見積書のとおり
〃 (0.75kw) 分解修理	1 台			〃
排水ポンプ修理	1 式			〃
計				

(注) 諸経費の算定にあたっては、昭和 59 年 9 月 7 日蔵計第 2150 号「内閣府、厚生労働省及び環境省所管補助施設災害復旧費実地調査要領」の別表 3 のとおりとする。

(11) 添付資料

ア. 行政区域図 (縮尺 1/25,000~1/50,000 程度)

(施設の位置を明示すること。)

イ. 平面配置図 (縮尺 1/100~1/500 程度)

(被災部分を色分けすること。)

ウ. 被災写真

できるだけ詳細に撮影し写真余白に番号を付し、上記図面に撮影位置を明示すること

例 No →

エ. その他参考となる資料

環 境 大 臣 殿

瑞浪市長

災害廃棄物処理事業の報告について

標記のことについて、 年 月 日の（災害名） により下記のとおり被害を受けたので、報告します。

記

1 災害の概要

具体的に記入すること、特に暴風、豪雨、洪水による被害の場合は降雨量(1時間最大雨量、24時間最大雨量)を必ず記入すること。

2 全般的被害状況

市町村名	人的被害			住家の被害					備考
	死者	行方不明	負傷者	全壊	流出	半壊	床上浸水	床下浸水	
	人	人	人	戸	戸	戸	戸	戸	

3 事業主体名

4 事業区分

5 事業費見込額 円

6 事業費算出内訳(別紙のとおり)

7 添付資料

(1) 行政区域図(縮尺 1/25,000~1/50,000 程度)

(被災区域を色分けすること。)

(2) 被災写真

[できるだけ詳細に撮影し写真余白に番号を付し上記図面に撮影位置を明示すること。]

(3) その他参考となる資料

様式 89 号

義 援 金 品 引 継 書

義 援 金 品 引 継 書																																															
引 継 者	機 関 名		職 氏 名		印																																										
引 受 者	機 関 名		職 氏 名		印																																										
<p style="text-align: center;">義援金品を次のとおり引継ぎました。</p> <p style="text-align: center;">記</p> <p>1 引 継 月 日</p> <p>2 引 継 場 所</p> <p>3 引 継 金 品 次表の通り (車両番号)</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; margin-top: 10px;"> <thead> <tr> <th style="width: 15%;">金 品 区 分</th> <th style="width: 10%;">単 位</th> <th style="width: 15%;">輸 送 数 量</th> <th style="width: 15%;">引 継 数 量</th> <th style="width: 15%;">差 引 過 不 足</th> <th style="width: 30%;">過 不 足 を 生 じ た 理 由 そ の 他</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td></tr> </tbody> </table>						金 品 区 分	単 位	輸 送 数 量	引 継 数 量	差 引 過 不 足	過 不 足 を 生 じ た 理 由 そ の 他																																				
金 品 区 分	単 位	輸 送 数 量	引 継 数 量	差 引 過 不 足	過 不 足 を 生 じ た 理 由 そ の 他																																										

- (注) 1 2部作成し、引継・引受両機関とも保管する。
 2 金品区分は、衣類、生活必需品、現金等に区分し、単位は梱包、点数、円等に表示する。

義援金品受領書

義援金品受領書		No.
(住所 氏名)		
殿		
1 現金	¥	円也
2 物資		
ただし、(災害名)		の義援金品として
上記のとおり受領しました。		
年 月 日		
機 関 名		
(取扱者 印)		

- (注) 1 複写式とし、事前に機関別の通しNo. を付しておく。
2 控は義援金品受領記録として保管し、関係帳簿への基礎記録とする。
3 各機関の財務規則等の定めにより扱う場合は、本様式事項をただし書き等に付記することとして差支えない。
4 物資区分は実情に即して記載する。

瑞浪市教育長 様

学校長名、公民館長、施設長

学 校 別 被 害 状 況 報 告 書

1 概 況

2 被害の状況

①	建物	(全壊、半壊、建物名称、面積等)
②	ガラス	(損壊面積、枚数等)
③	倒木	(倒木で支え木を必要とする本数等)
④	土地	(使用に耐えない校地面積等)
⑤	その他	(内部備品の破損程度等)

学校給食用物資被害状況報告書

瑞浪市
月 日現在

区 分	物 資 名	数量	包装	購 入 単 価	金額 A	発 生 場 所	諸経費 B	計 (A+B)
流 失 ・ 焼 失	小 麦 粉 (強力粉)	kg	包	円	円		円	円
	小 麦 粉 (普通粉)							
	脱 脂 粉 乳							
埋 没	小 麦 粉 (強力粉)							
	小 麦 粉 (普通粉)							
	脱 脂 粉 乳							
ぬ れ 損	小 麦 粉 (強力粉)							
	小 麦 粉 (普通粉)							
	脱 脂 粉 乳							
計	小 麦 粉 (強力粉)							
	小 麦 粉 (普通粉)							
	脱 脂 粉 乳							
	計							
備 考								

- (注) 1 小麦粉の買入単価、脱脂粉乳の買入単価は、県学校給食会からの買入価格とする。
- 2 諸経費とは、農政事務所、日本体育・学校健康センター又は県学校給食会からの買入から事故発生場所までにおける所要経費をいう。
- 3 「ぬれ損」の小麦粉は、昭和46年3月8日付文体給第100号46食糧業第454号「学校給食用小麦粉の取扱いの改定について」により、その旨を別途詳細報告すること。
- 4 「備考」欄には給食施設の被害の概況等を記載すること。

児童、生徒被災状況報告書

月 日現在

区 分	小学校			中学校			合 計
			計			計	
災害救助法適用の有無							
住家被害	全壊、全焼、流失						
	半壊、半焼						
	床上浸水						
農作物被害 総耕作反別で50%以上被害							
計							
調査時在学児童生徒数							
被災児童生徒内訳	生活保護適用者						
	学校給食法による給食補助適用者						
	被災により新たに保護又は補助を要する者						
	その他欠食がちと認められる者の数						
	計						
摘要							

- (注) 1 住家被害及び農作物被害は、市本部のそれぞれの被害調査記録に基づくものとする。
 (特に住家は被災者台帳の被害程度)
- 2 住家被害と農作物被害の重複するものは、住家被害に計上する。
- 3 生活保護適用者は、生活保護法により給食扶助を受けている者。

令和 年 月 日

岐 阜 県 知 事 様

申請者住所（法人事務所所在地）

〇〇学校（幼稚園）設置者

氏 名 印

〔 〇〇法人 〇〇〇〇
理事長（代表者）氏 名 印 〕

災害による私立学校被害状況報告書

〇〇学校（幼稚園）の〇〇〇〇災害による被害状況について、別紙のとおり報告します。

注意事項

- 1 暴風、豪雨、豪雪、洪水、地震等の災害により、県下の市町村で災害救助法（昭和22年法律第118号）が適用される程度の被害が生じた場合に、この様式で報告すること。
- 2 被害状況の調査、報告に当たっては、岐阜県地域防災計画の「第3章災害応急対策、第9節災害情報等の収集・伝達」及び「第4章災害復旧」等に留意して行うこと。
- 3 後日、災害復旧事業の対象となる場合があるので、被害写真をできるだけ多く、鮮明に撮影しておくこと。

被災児童生徒及び教職員調

区分	人的被害				住家の被害						計	
	死亡	行方不明	負傷	計	全壊焼	流出	小計	半壊焼	床上浸水	小計		
児童 生徒 学生	幼稚園											
	小学校											
	中学校											
	高等学校											
	盲ろう及び 養護学校											
	大学											
	短期大学											
	高等専門学校											
	専修学校											
	各種学校											
計												
教 職 員	幼稚園											
	小学校											
	中学校											
	高等学校											
	盲ろう及び 養護学校											
	大学											
	短期大学											
	高等専門学校											
	専修学校											
	各種学校											
計												

- (注) 1 負傷は、災害により負傷したもので、医師による診断治療又は治療材料を特別要する程度のものから計上する。
- 2 住家の被害は、市本部で備え付けの被災者台帳による被害区分によること。